



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月14日

上場会社名 セイコーグループ株式会社

上場取引所 東

コード番号 8050

URL <https://www.seiko.co.jp>

代表者(役職名) 代表取締役社長

(氏名) 高橋 修司

問合せ先責任者(役職名) 経理部長

(氏名) 南 正宣 (TEL) 03-3563-2111

四半期報告書提出予定日 2024年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	205,672	4.2	14,143	13.6	15,321	20.5	10,643	31.3
2023年3月期第3四半期	197,459	13.6	12,446	91.7	12,716	76.7	8,104	107.3

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 16,781百万円(22.3%) 2023年3月期第3四半期 13,724百万円(72.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	257.96	—
2023年3月期第3四半期	196.43	196.43

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	372,982	144,050	38.0
2023年3月期	355,915	131,748	36.5

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 141,760百万円 2023年3月期 129,792百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	37.50	—	37.50	75.00
2024年3月期	—	37.50	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	42.50	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

詳細は、【添付資料】4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	275,000	5.6	14,000	24.6	14,500	29.8	9,000	79.0	218.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細は、【添付資料】4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 — 社(社名) — 、除外 — 社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2024年3月期3Q	41,404,261株	2023年3月期	41,404,261株
2024年3月期3Q	639,550株	2023年3月期	132,337株
2024年3月期3Q	41,261,132株	2023年3月期3Q	41,258,856株

(注)「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」の算定上控除する自己株式数には、株式給付信託(BBT)が保有する当社株式を含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、【添付資料】4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

【添付資料】

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明	P. 4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 10
(継続企業の前提に関する注記)	P. 10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 10
(セグメント情報)	P. 11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2023年4月1日～12月31日）における世界経済は、高インフレが継続する中で金融引き締めが続いており、米国経済は減速懸念があるなか堅調に推移しているものの、欧州経済の景気減速は顕在化してきています。また、中国経済は不動産市場の調整が長引く中で消費マインドは低迷しています。

わが国の経済は、インフレの中でも個人消費は緩やかな回復傾向にあり、またインバウンド需要も引き続き回復基調にあります。

(単位：百万円)

	2022年3月期 第3四半期 累計期間(a)	2023年3月期 第3四半期 累計期間(b)	2024年3月期 第3四半期 累計期間①	前々年同期 増減 ①－(a)	前年同期 増減 ①－(b)
売上高	173,861	197,459	205,672	31,810	8,213
営業利益	6,492	12,446	14,143	7,650	1,696
%	3.7%	6.3%	6.9%	3.2pt	0.6pt
経常利益	7,196	12,716	15,321	8,124	2,604
%	4.1%	6.4%	7.4%	3.3pt	1.0pt
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3,910	8,104	10,643	6,733	2,539
%	2.2%	4.1%	5.2%	3.0pt	1.1pt
換算レート					
USD (円)	111.1	136.5	143.3	32.2	6.8
EUR (円)	130.6	140.6	155.3	24.7	14.7

このような中、エモーショナルバリューソリューション事業では、国内市場向けのウオッチ事業、和光事業が、個人消費の回復やインバウンド需要を背景に大きく売上高を伸ばし、海外市場向けのウオッチ事業も欧州、アジア地域で伸長して、売上高は前年同期を上回りました。デバイスソリューション事業は、中国経済停滞の長期化や電子デバイス市場での在庫調整等、事業環境が低迷するなかで売上高は前年同期を大きく下回ったものの、一部製品で需要回復の兆しが見えます。システムソリューション事業は、多角化やストックビジネス拡大への取組みが引き続き奏功して、前年同期を上回る売上高となりました。その結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は、2,056億円（前年同期比4.2%増）となりました。

連結全体の国内売上高は1,059億円（同8.3%増）、海外売上高は997億円（同0.1%増）となり、海外売上高割合は48.5%でした。

当第3四半期連結累計期間の広告宣伝販促費は前年同期に対して約7%増加し、販売費及び一般管理費は前年同期から49億円の増加となりました。営業利益は、エモーショナルバリューソリューション事業が牽引し、前年同期から16億円増加し141億円（同13.6%増）となりました。営業外損益は、受取利息や受取配当金の増加等により前年同期から改善し、経常利益は前年同期を26億円上回る153億円（同20.5%増）となりました。特別損益は、特別利益として投資有価証券売却益など2億円、特別損失として事業構造改善費用、情報セキュリティ対策費を合わせて10億円を計上しました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、国内事業会社の収益改善に伴い法人税等調整額が減少したことなどにより、前年同期から25億円増加し106億円（同31.3%増）となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間の平均為替レートは1米ドル143.3円、1ユーロ155.3円でした。

セグメント別の概況は、以下のとおりです。

① エモーショナルバリューソリューション事業（EVS事業）

EVS事業の売上高は前年同期比130億円増加の1,425億円（前年同期比10.1%増）となりました。

国内のウォッチは、回復基調となった個人消費やインバウンド需要を背景に「グランドセイコー」、「セイコープロスペックス」などのグローバルブランドが好調に推移し、前年同期から売上高を伸ばしました。また海外でも、グローバルブランドが米国、欧州、アジアで「セイコープレザージュ」、「セイコー5スポーツ」などを中心に伸長し、中国の回復が遅れているものの、売上高は前年同期から増加しました。ウォッチムーブメントの外販ビジネスにつきましては、中国経済の低迷を受け、売上高は前年同期から減少しました。

和光事業の売上高は好調なインバウンド需要を背景に前年同期と比べ大きく伸長しましたが、クロック事業は海外向けで中国経済の低迷を受けるなど、売上高は前年同期から減少しました。

営業利益は前年同期から49億円増加し159億円（同45.3%増）となりました。

② デバイスソリューション事業（DS事業）

DS事業は売上高422億円（前年同期比15.5%減）、営業利益9億円（同81.9%減）となりました。

中国経済停滞長期化や電子デバイス市場での在庫調整が継続している影響により、サーマルプリンタを始め、半導体製造装置向けの高機能金属、精密部品等が低迷し、前年同期から大幅な減収減益となりましたが、酸化銀電池や水晶など、一部の事業で回復の兆しが見えます。

③ システムソリューション事業（SS事業）

SS事業の売上高286億円（前年同期比6.2%増）、営業利益は34億円（同8.8%増）となりました。

デジタル化の波を受け電子契約関連のビジネスが伸長し、また性能管理・セキュリティ関連ビジネスなどデジタルインフラを支える事業が拡大したことなどにより、31四半期連続で対前年同四半期比増収増益となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第3四半期連結会計期間末の総資産は3,729億円となり、前年度末に比べて、為替による影響も含め170億円の増加となりました。流動資産では、棚卸資産が44億円増加したことなどにより、流動資産合計は前年度末より77億円増加し1,811億円となりました。固定資産では、有形固定資産が50億円、投資その他の資産が40億円増加したことから、固定資産合計は前年度末と比べ92億円増加の1,917億円となりました。

（負債）

負債につきましては、短期借入金が19億円減少、長期借入金が37億円減少し、借入金合計は1,263億円となりました。賞与引当金が16億円減少したほか、支払手形及び買掛金が45億円、電子記録債務が25億円、未払法人税等が22億円増加したことなどにより、負債合計は前年度末と比べ、為替による影響も含め47億円増加の2,289億円となりました。

（純資産）

純資産につきましては、株主資本が62億円増加し、また、為替換算調整勘定が40億円増加したことなどから、合計でも前年度末と比べ123億円増加の1,440億円となりました。

(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間では、EVS事業が前年同期と比べ大きく増収増益となり、DS事業は減収減益であったものの、連結営業利益は前年を上回ることとなりました。これらのことから、通期連結業績予想および通期セグメント別業績予想について、下記のとおり修正いたします。

【通期連結業績予想】

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A) (2023年11月14日)	268,000	12,000	12,000	8,000	193.72
今回修正予想(B)	275,000	14,000	14,500	9,000	218.78
増減額(B-A)	7,000	2,000	2,500	1,000	25.06
増減率(%)	2.6	16.7	20.8	12.5	12.9

【通期セグメント別業績予想】

単位：億円

	売上高		営業利益	
	今回予想	前回	今回予想	前回
エモーショナルバリューソリューション事業	1,850	1,800	170	150
デバイスソリューション事業	600	600	23	23
システムソリューション事業	410	390	50	50
事業別合計	2,860	2,790	243	223
その他	10	10	2	1
連結合計	2,750	2,680	140	120

(注) 連結合計はセグメント間の内部売上高消去等、連結調整後の数値です。

また、利益配分につきましては、自己資本の充実を図りつつ資本の効率性と株主への安定的な利益配分に配慮し、安定配当の継続を行うことを基本方針としております。

当期につきましては、本日公表しましたとおり、通期の連結業績予想が前回予想を上回る見込みであることから、当期の期末配当予想を前回予想から1株当たり5円増額し、42.5円に修正いたします。

これに伴い、当期の年間配当金は、実施済みの中間配当金37.5円と合わせて、1株当たり80円となります。

【配当予想】

基準日	年間配当		
	第2四半期末	期末	合計(年間)
前回予想 (2023年11月14日公表)	-	37円50銭	75円00銭
今回修正予想	-	42円50銭	80円00銭
当期実績	37円50銭	-	-
前期実績 (2023年3月期)	37円50銭	37円50銭	75円00銭

※ 上記の予想は、当社が現在入手している情報および合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	36,324	36,650
受取手形、売掛金及び契約資産	38,647	44,765
棚卸資産	83,776	88,219
未収入金	6,577	3,697
その他	9,381	9,318
貸倒引当金	△1,297	△1,455
流動資産合計	173,410	181,196
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	79,280	81,741
機械装置及び運搬具	86,117	90,802
工具、器具及び備品	39,233	40,809
その他	12,699	15,432
減価償却累計額	△163,232	△170,208
土地	54,182	54,401
建設仮勘定	2,867	3,226
有形固定資産合計	111,149	116,205
無形固定資産		
のれん	6,901	6,003
その他	8,620	9,648
無形固定資産合計	15,522	15,651
投資その他の資産		
投資有価証券	45,490	48,882
繰延税金資産	1,923	2,125
その他	8,572	9,075
貸倒引当金	△153	△155
投資その他の資産合計	55,833	59,928
固定資産合計	182,505	191,785
資産合計	355,915	372,982

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,790	23,371
電子記録債務	6,212	8,785
短期借入金	72,598	70,650
1年内償還予定の社債	300	-
1年内返済予定の長期借入金	22,117	21,985
未払金	11,344	11,527
未払法人税等	1,793	4,077
賞与引当金	4,879	3,208
その他の引当金	1,452	1,282
資産除去債務	9	433
その他	22,659	23,690
流動負債合計	162,157	169,011
固定負債		
長期借入金	37,525	33,737
繰延税金負債	4,285	4,606
再評価に係る繰延税金負債	3,614	3,614
その他の引当金	742	767
退職給付に係る負債	6,894	6,701
資産除去債務	1,079	492
その他	7,867	9,999
固定負債合計	62,009	59,919
負債合計	224,166	228,931
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	7,245	7,245
利益剰余金	81,520	89,058
自己株式	△248	△1,583
株主資本合計	98,517	104,719
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,464	13,356
繰延ヘッジ損益	△9	13
土地再評価差額金	8,190	8,190
為替換算調整勘定	10,638	14,678
退職給付に係る調整累計額	992	801
その他の包括利益累計額合計	31,275	37,040
非支配株主持分	1,956	2,290
純資産合計	131,748	144,050
負債純資産合計	355,915	372,982

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	197,459	205,672
売上原価	111,422	112,988
売上総利益	86,037	92,684
販売費及び一般管理費	73,590	78,541
営業利益	12,446	14,143
営業外収益		
受取利息	134	289
受取配当金	771	961
持分法による投資利益	772	792
その他	482	1,186
営業外収益合計	2,161	3,229
営業外費用		
支払利息	808	1,021
その他	1,082	1,029
営業外費用合計	1,891	2,051
経常利益	12,716	15,321
特別利益		
投資有価証券売却益	-	139
事業構造改善引当金戻入額	-	106
特別利益合計	-	245
特別損失		
事業構造改善費用	136	608
情報セキュリティ対策費	-	395
感染症拡大に伴う損失	90	-
特別損失合計	226	1,004
税金等調整前四半期純利益	12,490	14,562
法人税等	4,180	3,631
四半期純利益	8,309	10,930
非支配株主に帰属する四半期純利益	205	287
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,104	10,643

四半期連結包括利益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	8,309	10,930
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	780	1,815
繰延ヘッジ損益	322	23
為替換算調整勘定	3,188	4,185
退職給付に係る調整額	△20	△216
持分法適用会社に対する持分相当額	1,145	42
その他の包括利益合計	5,415	5,850
四半期包括利益	13,724	16,781
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	13,500	16,408
非支配株主に係る四半期包括利益	224	373

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	エモーシ ナルバリュ ーソリユ ーション事業	デバイスソ リユース ン事業	システムソ リユース ン事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	127,259	44,847	24,758	196,864	282	197,146	312	197,459
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,270	5,130	2,233	9,634	507	10,142	△10,142	—
計	129,529	49,977	26,992	206,499	790	207,289	△9,829	197,459
セグメント利益	11,000	5,290	3,178	19,469	147	19,617	△7,170	12,446

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、シェアードサービス事業等を含んでおります。

2. 調整額は以下のとおりであります。

(1) 外部顧客への売上高の調整額312百万円は、事業セグメントに帰属しない本社部門におけるロイヤリティー収入であります。

(2) セグメント利益の調整額△7,170百万円には、のれんの償却額△424百万円、セグメント間取引消去等△518百万円、各事業セグメントに配分していない全社費用△6,227百万円が含まれております。全社費用の主なものは、事業セグメントに帰属しない本社部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	エモーシ ナルバリュ ーソリユ ーション事業	デバイスソ リユース ン事業	システムソ リユース ン事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	140,409	38,332	26,284	205,027	295	205,323	349	205,672
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,162	3,887	2,381	8,430	579	9,010	△9,010	—
計	142,571	42,220	28,665	213,458	875	214,333	△8,661	205,672
セグメント利益	15,984	957	3,458	20,401	175	20,576	△6,433	14,143

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、シェアードサービス事業等を含んでおります。

2. 調整額は以下のとおりであります。

(1) 外部顧客への売上高の調整額349百万円は、事業セグメントに帰属しない本社部門におけるロイヤリティー収入であります。

(2) セグメント利益の調整額△6,433百万円には、のれんの償却額△424百万円、セグメント間取引消去等△359百万円、各事業セグメントに配分していない全社費用△5,649百万円が含まれております。全社費用の主なものは、事業セグメントに帰属しない本社部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。